



晴山中学校で行われた雑穀料理教室。古くから栽培が行われてきた雑穀が今、全国的に注目を浴びてきています。雑穀の桃源郷づくりを目指す軽米町。子どもから大人までが一つになり、雑穀による町づくりが進められています。



雑穀を使った軽米の特産品

近年の健康食ブームにより、需要が高まりつつある雑穀。ビタミンや鉄分、カルシウムなどが豊富な雑穀は、ご飯に混ぜるなどして手軽に栄

健康食ブームで 雑穀の需要拡大

出生率の低下や、若年層の町外流出などにより過疎化が急速に進み、高齢化率も三二%と国や県を上回るスピードで進むわたしたちの町。少子化の影響により幼稚園、保育園の

過疎化とともに 農業の衰退進む

昨年七月十一日、総務省内閣府の地方の元気再生事業に、本町の「わ かるまい」雑穀の桃源郷づくりプロジェクトが採択されました。進められる雑穀による町づくり。現在の取り組み、プロジェクトの内容についてお知らせします。

入園者数の減少、小学校の児童数の減少による、学校の統廃合も進んでいます。

町の基幹産業でもある農業も輸入自由化や農業担い手不足などにより低迷。就業者の減少や高齢化により遊休農地も増加しています。

そんな中、ヒエやあわなど雑穀の生産量が大きな伸びを見せています。約千二百年前から栽培が行われてきた雑穀。独特の気候風土に合わせた多様な雑穀栽培が行われ、郷土食や伝統食などの地域食文化が形成されてきました。この雑穀を生かした町づくりが今、進められようとしています。



雑穀の桃源郷を目指して

何ぞれ何ぞれ？
これは軽米でとれた雑穀だよ
みんなが食べてる給食にも使われていて
体にもいいんだよ
へーそうなんだあ
軽米にこんなのが
あるなんて知らなかった
じゃあみんな
軽米の雑穀について
調べてみようか

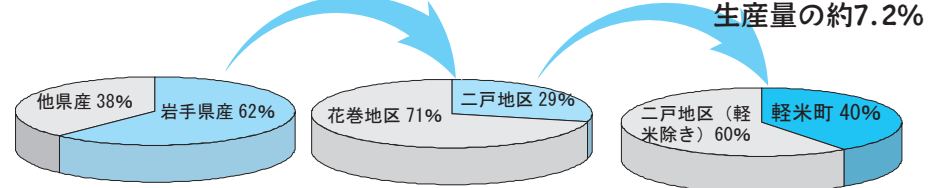
養をとることが出来る健康食品として人気が上がっています。

本町は馬産地ということもあり、馬の飼料用として無農薬のヒエの生産が行われてきました。そのヒエが注目を浴びだしたのが十数年前のこと。当時の健康食ブームにより、無農薬栽培されている軽米の雑穀に、他県からも問い合わせが入るようになり増えました。雑穀の生産者が少しずつ増えるとともに、町では平成七年にミレット（雑穀）パークを建設。平成九年から消費者との交流を目的にミレットまつりも開催しました。また、平成十年には、町新需要穀類種子生産協議会を設置し、雑穀の生産拡大が進みました。

平成十四年に四九・五トだった町の雑穀生産量は、現在一五〇・四ト。その生産量は岩手県内の約一八%、全国でも約七・二%を占めています。雑穀を使った商品開発も進められてきました。雑穀のパックや、食べ切りサイズにパックした雑穀スティックのほか、本格雑穀焼酎「あずまびす」や五穀豊穡ケーキも作られ、特産品として人気を集めています。

一月二十一日に、二戸市で行われた雑穀推進大会で「第一回二戸地域雑穀ブランド推進大賞」の表彰を受けた、雑穀生産者の馬場孝悦さん（屋敷）は「ブームの時は消費も伸びるが、そのブームが終わったときが怖い。行政と生産者などが連携を図り、今以上に付加価値をつけた販売方法を考える必要がある」と話します。持続した需要を得るための対策が今後の課題となっています。

軽米町産雑穀の生産量の割合



軽米町産雑穀の生産量の推移

	ヒエ	あわ	きび	アマランサス	たかきび	えごま	計
H14	40.1	2.3	1.2	5.1	0.8	—	49.5
H18	12.8	49.9	14.4	21.3	7.8	2.2	108.4
H20	8.2	70.7	41.6	13.5	11.4	5	150.4

(単位：t) 産業振興課調べ



会や町護穀生産部会など六団体が、エゴマ入りカレントウや雑穀入りピザなど、雑穀を使った創作料理を披露しました。

食フェスタに合わせて、パルシステム生活協同組合連合会（本部東京都、組合員約百十三万人）の組合員二十五人も来町。エゴマ搾油施設や生産現場の視察、五穀入りの巻き寿司作りなどのイベントを楽しみました。生産者の顔や現場を知ることにより、消費者は改めて安全安心な農作物栽培への町の取り組みや温かき、軽米のよさを感じていました。来年度は農家民泊による交流やグリーンツーリズムの推進が予定されています。

ソバやアマランサスなど雑穀の花による美しい景観づくりも予定されています。現在進めているシバザクラの植栽、フォリストパークやミルみるハウスでのチューリップとあわ

せ、美しい農村景観を作り出していくでしょう。

食の問題が多発 安全安心な食を

産地偽装や品質表示の改ざんなど、食に関する問題が全国的に多発しています。

健康食品であり安全・安心を売りにしている雑穀。町の雑穀も無農薬で栽培されています。雑穀の栽培拡大、軽米産雑穀の品質向上に向けて二月十八日に農村環境改善センターで行われた雑穀栽培講習会には、雑穀栽培農家やこれから栽培を始めようと考えている人など約百人が参加。二戸農業改良普及センターの職員らから、効率のよい除草方法や収穫方法などを学びました。消費者の期待に答える品質のよい安全・安心な雑穀の栽培に向けて、生産者も力を入れています。



町内産の食材を取り入れている学校給食

地産地消で 資源を循環

地元の伝統的な食文化や食材を見直すスローフード運動として、地元でとれたものを地元で消費する地産地消が進められています。

町内の学校給食で進められているのが、地元の食材を使った給食です。食育の日と定められている毎月十九日は、特に地場産農畜産物の使用に力をいれるとともに、子どもたちの食育の場ともなっています。二月十九日には町内の全小中学校で雑穀を使った給食が行われ、小軽米小学校の五年生は、町給食センターの職員や雑穀の生産者らと交えた給食会



雑穀を使った料理で雑穀の知識を高める晴山中学生

を行いました。アマランサス入りさるなしジャムパンやいなぎびりりのジャーマンポテトが登場。子どもたちは生産者の工藤孝一郎さん（沢田）から雑穀に関する話を聞きながら給食会を楽しみました。木田茉佑さん（五年）は「アマランサスと香ばしいにおいのさるなしジャムが軽米らしくておいしかった。これからは軽米の食材を食べていきたい」と話し、町の食材を使った給食をいしうに食べていました。地産地消の推進とともに、子どもたちの雑穀などへの理解も深まっています。

軽米の雑穀を 首都圏に発信

町の特産品のPRに力を入れているのが晴山中学校（小橋正嗣校長、生徒九十四人）。学校裏の畑で育てた雑穀を、毎年修学旅行の際に東京都でPR販売しています。二年生三十一人は、昨年六月から育てたイナキビを九月下旬に収穫。二月十二日には、食生活改善推進員らの指導のもと、収穫したイナキビを使った雑穀料理教室を開催し、雑穀に関する知識や料理方法などを体で覚えさせた。昨年の修学旅行では、雑穀を買った人から中学校にお礼の電話がくるなど、首都圏の消費者からとても好評でした。雑穀のことをあまり知らない消費者も多く、同中学校のこのような活動は町のPRへとつながっています。



雑穀栽培への知識と気持ちを高めました

全国雑穀サミットで 軽米の雑穀を全国へ

本年九月には「全国雑穀サミット in かるまい」が本町で行われます。全国から五百人を超える人が訪れる大規模なサミット。雑穀アドバイザーによる基調講演や生産者、流通関係者、加工関係者、消費者などによるシンポジウム、現地での収穫体験などの他、本町の雑穀料理や郷土食などによる交流会も予定されています。軽米の雑穀を全国に向けて発信するとともに、生産加工流通体制の充実を図ろうとしています。食文化の育成、食育、地産地消など、町民と行政が力を合わせ雑穀による総合的な町づくりを進めていきます。

生産者の声



行政と連携し、雑穀の付加価値化を

馬場 孝悦さん（屋敷、37歳）

雑穀は無農薬で栽培するため、除草にはとても手間がかかります。でもその分、雑穀の安全性はピカイチ。食の安全が騒がれている今、昔から作られているものであり、栄養バランスもよい雑穀は消費者の方に安心して食べていただけたらと思います。

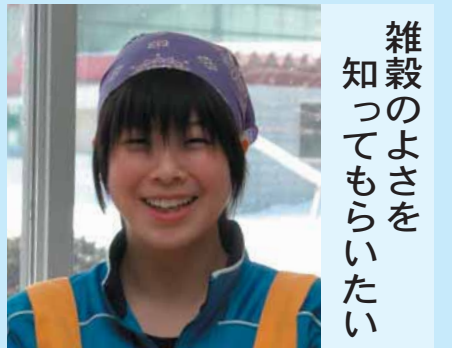
生産者の立場としては、これからも生産量を増やしていきたいというのがありますが、行政などと連携し、もっと付加価値化を進めていく必要があると思います。雑穀の販売単価の向上、商品や人の交流の増加が町の活性化にもつながると思います。

交流人口の 拡大を目指す

昨年十月に行われた「食フェスタ in かるまい」。食にこだわって行われたイベントには、町内外から約三千八百人が訪れ、たくさんの方々が雑穀料理や郷土料理に触れる機会となりました。図書館前に設けられた郷土食テント村では食生活改善推進協議

昨年九月十三日には、首都圏での町PRを行う「町宣伝大使」の委任状を在京軽米会（種市良則会長、会員六十人）の会員二十五人に交付。首都圏への情報発信に期待が寄せられます。

- interview -



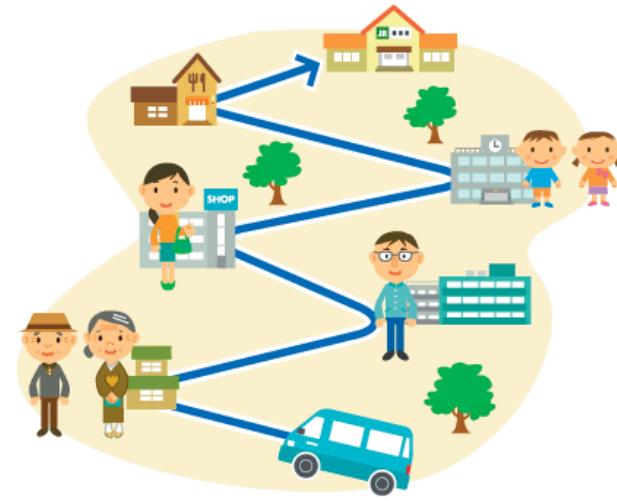
雑穀のよさを 知ってもらいたい

関 惟乃さん（晴山中2年）

雑穀は好きで、家ではご飯に入れてもらって食べています。今回、雑穀を使って料理をしたことにより、雑穀の顔を見直すよい機会になりました。今年4月の修学旅行に向けて雑穀について勉強し、首都圏の人たちにも、軽米の雑穀のよさを知ってもらえるように頑張りたいと思います。

今後の公共交通サービス デマンド交通の可能性は

町では、平成二十一年一月に町統計調査員を通じて町民意識調査を実施しました。今回は「町の公共交通サービス」をテーマに、町内に在住する四百六十一人を対象に行いました。そのうち八八・七％にあたる四〇九件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。

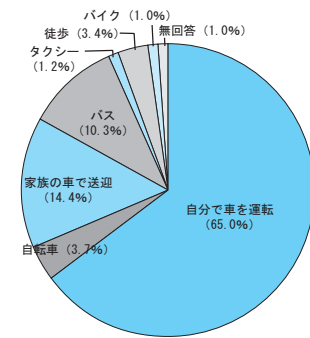


デマンド交通システム

目的地に直行する、通常のタクシーとは異なり、他の人も乗りあって目的地に送迎するサービスです。事前登録した利用者は、情報センターに電話で利用時間帯と目的地を告げて予約します。車は乗り合う人を順に迎えにいき、全ての人を目的地まで送迎します。運行は基本的に日中のみで、乗り合わせのため遠回りになることもありますが、料金は定額で交通費の負担が軽く済みます。

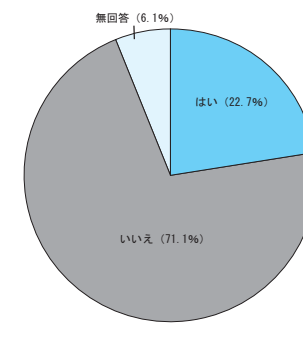
町では、平成二十一年一月に町統計調査員を通じて町民意識調査を実施しました。今回は「町の公共交通サービス」をテーマに、町内に在住する四百六十一人を対象に行いました。そのうち八八・七％にあたる四〇九件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。

【問】日常の外出（買い物や通院）移動手段は？
6割以上が自家用車交通サービスは少数



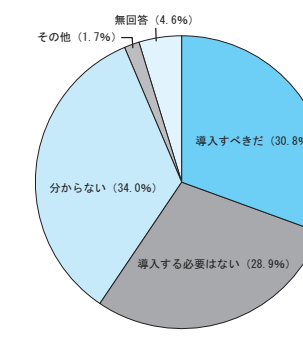
六五％の人が交通手段として自家用車を利用していました。家族の車で送迎されている人は一四・四％で、自転車やバイクなどを利用する人を含めると、八割以上の人は公共の交通機関を利用していないことが分かりました。

【問】交通手段の面で外出に不便を感じていますか？
7割の人は不安感、70歳以上では割合増加



不安を感じる人は全体の二・七％。理由として「バスの本数が少ない」「自家用車以外の交通手段がない」という意見が多くありました。また七十歳以上の人は不便だと答える割合が最も高く約三八％の人が不便と回答しました。

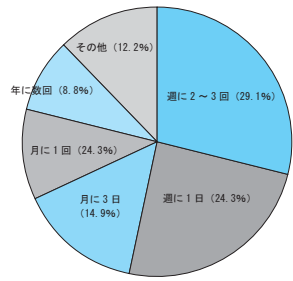
【問】デマンド交通システムを町に導入するべきか？
意見が二つに分かれ導入すべきも30%



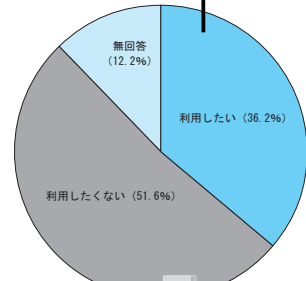
導入すべきと、必要ないという意見がほぼ同じ割合になりました。その他の意見として「自分は必要ないが必要となる年代の方もいると思う」「経費がかかるなら導入する必要はない」「町民バスを廃止してデマンド交通を」などの意見がありました。

町の公共交通サービスについてでた自由意見

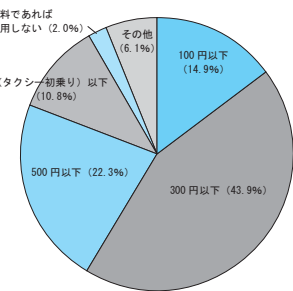
- ・盛岡行き的高速バスが路線変更したことで不便を感じる。
- ・デマンド交通は、遠回りをする分、タクシーより安いなどのメリットがなければ利用されないのでは。通学にも使えれば便利だと思ふ。
- ・車を利用する人が多いのでバス利用者の意見が重要だと思ふ。
- ・二戸病院行きのバスがあれば便利。
- ・遠隔地に住む人の乗り換えようとして考えてみては。
- ・デマンド交通よりも、タクシーやバスを利用する際の割引サービスがあればよいと思ふ。



【問】どのくらいの頻度で利用するか？
週に数回は利用



【問】デマンド交通システムが導入された場合利用したいか？
利用したくないが半数を占める



【問】料金はどのくらいであれば利用するか？
五百円以下が六割超

※利用したくない理由

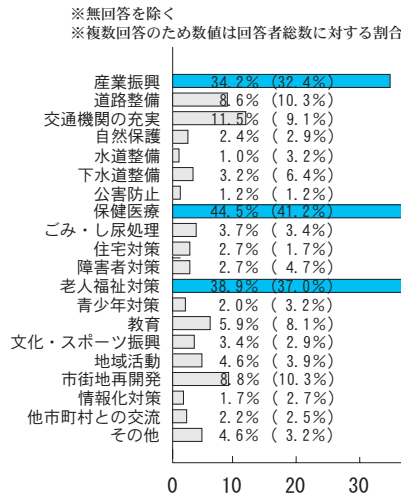
- 自分で車を運転するから (70.1%)
- 乗り合わせのため遠回りになる (7.6%)
- 家族に送迎してもらうから (7.1%)
- バスのほうが便利だから (5.2%)
- 目的地が町外だから (4.3%)

【町施策への要望、身近な問題、住みやすさ、買い物先に関する調査】

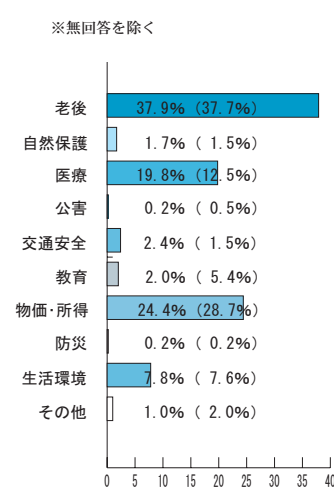
保健医療と老人福祉、産業振興施策への期待大きく

※ () は前年度調査結果

■町政で力を入れてほしい施策は？



■身近な問題の関心は？



Q 身近な問題の関心は？
医療が増加傾向
日ごろ身近な問題として、特に関心を持っていくことは「老後」が最も高く三七・九％でした。「医療」について関心を持つ人が前回調査より約七％増え、一九・八％の人が答えています。また

「物価・所得」と答えた人も依然多く、二四・四％となりました。
Q 力を入れてほしい施策
保健医療や福祉対策
町政全体で特に力を入れてほしい施策については「保健医療」が四四・五％と最も高く、次いで「老人福祉対策」(三三・九％)、「産業振興」(二四・四％)と

Q 買いたい物はどこですか？
二％と、この三分野に回答が集まりました。その他の意見として、少子化対策や子育て支援に力を入れてほしいという意見が多かったです。

Q あなたにとって町は住みやすいか？
普通 (50.9%)、町内でほとんど (30.3%)、町内と町外が半々 (46.7%)、ほとんど町外 (21.8%)、非常に住みやすい (5.6%)、非常に住みにくい (5.6%)、やや住みにくい (13.7%)

町民意識調査の詳しい結果については、役場総務課にて公表しております。
■問い合わせ先
総務課情報防災グループ
(四六・四七三八)

調査対象者
町内在住者461人(永久選挙人名簿登録者から20分の1を無作為抽出)
調査方法
町統計調査員による訪問留め置き調査
調査日:平成21年1月13日
回収状況:有効回収数 409件
有効回収率 88.7%
回答者内訳
男性(185人)女性(224人)
20~29歳(33人)30~39歳(43人)
40~49歳(65人)50~59歳(97人)
60~69歳(84人)70歳以上(87人)

200人の個性がキラリ

第7回生涯学習フェスティバル

生涯にわたり、主体的に続ける学習活動を発表し合う場として、第七回目を迎えた町生涯学習フェスティバル（住民の手による生涯学習フェスティバル実行委員会主催）が二月八日に行われ、町民約二百人が出演しました。世代を超え、地域や職場などの団体、そして個人が一堂に会し、個性豊かに日ごろの学習の成果を披露。ポランティアスタッフと出演者、観客合わせて六百人が一つになりフェスティバルをつくり上げました。

interview ～観客の声～



左 本田 令子さん（観音林西）
右 福田 ミカ子さん（観音林東）

出演した皆さんが、本当によく練習しているのが分かりました。どれを見ても素晴らしい発表ばかり。自分たちも踊りやカラオケなどに挑戦してみたい気持ちが生まれました。軽米保育園の先生による昔話もすばらしかったです。県内だと遠野くらいにしかないと思っていましたが、軽米の昔話もそれに負けないくらいよかったです。今日は本当に楽しい1日でした。

Pickup 2 軽米保育園（語り部）



軽米の民話「ばったり沢のキツネ」を披露した、軽米保育園の君成田美代子さん（右下の写真）。ゆっくりと感情を込めて語られる民話を、集まった観客は静かに聞き入っていました。

同保育園では、毎月1回誕生会の際に、園児らの前で昔話を伝承しています。その月の担当の保育士が、町に伝わる民話の中から好きな話を選んで語り聞かせています。1枚の座布団の上にもんぺ姿で座り「むがーしむがし、あったずー」

で始まる民話は、軽米の方言を使って表現力豊かに語られます。古館貴園長は「園児たちは、その日聞いた話を家族に話しているようで、家族との会話も増えている。聞く力や想像力の向上も見受けられる」と語り部の成果を感じています。



①柔道をしながらの歌や踊り、力強い太鼓で会場を盛り上げた創作太鼓の会「座・宇漢米」②総勢25人で踊る軽米ソーラン愛好会③本年度元気なコミュニティに選ばれた円子よさこい組「どっこいしょ」④華麗な踊りを披露した村上ミヤさん⑤野菜を使った踊りを披露した、いきいき軽米産直部会下新町地区の皆さん⑥「昔の名前で出ています」を熱唱した戸草内勝夫さん⑦会場を沸かせた館下民謡クラブ⑧太鼓教室の成果を披露した笹渡中学生⑨息のあった踊りを見せた泉山毅・禮子夫妻⑩踊りの後のインタビューに笑顔で答える日向日出男、ヒデ夫妻⑪きれいな音色が響き渡った山下範雄さんのハーモニカ演奏⑫⑬お遊戯を発表した軽米幼稚園の年長園児⑭岩手大学生とともに練習してきた影絵教室成果発表⑮「花ふたつ」を披露した鶴飼久子さん



Pickup 1 演劇教室受講生



演劇教室の成果発表として「はっけよい、のこった！」を披露した受講生。まわしを巻いた初々しい小学生と、もんぺ姿で方言をふんだんに使った大人による発表は、素晴らしい演技力で観客の心をがっしりとつかんでいました。出演者した皆さんは「お客さんからの拍手や笑い声がとても心強く、楽しんでもらえてよかった。皆さんも一緒に演劇をやりたい」と、来年の発表に向けて意欲を見せていました。

マイタケなら円子

菌床ブロック製造施設が完成

円子地区創造地域協議会（川口幸雄会長）のマイタケの菌床ブロック製造施設が完成し、一月二十七日に竣工式が行われました。

式には地区民約五十人が参加。川口会長は「マイタケなら円子、円子ならマイタケと呼ばれるように頑張りたい。マイタケを円子の特産物にして何とか村おこしをしていき



初めての菌床ブロック製造を行う地区民

たい」とあいさつしました。神事に続き行われたテープカットには山本町長ら関係者八人が参加。式の最後には川口会長と山本町長が、殺菌釜に火入れをし、施設の完成を喜びました。

施設は、昨年採択された「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」の一環で、遊休施設だった旧農協円子支所の倉庫を改修して作られました。

式後には、さっそく菌床ブロックの製造を開始。一日二百玉を製造し、殺菌、冷却、接種、培養を経て四月初ころから同地区の山林内に埋め込みます。本年度はすでに五千玉が作られており、来年度以降は年間一万から一万五千個を目標に製造が進められます。



菌床ブロックの施設完成を祝って行われたテープカット

地域に貢献した11人を表彰 平成20年度町表彰式典

平成20年度町表彰式 受賞者と功績（敬称略）

- 【社会福祉関係】
 - 館下 ハギ（高家、72歳）
 - 千葉エイ子（沢里、76歳）
 - 日山 京子（車門、74歳）
 - 社会福祉委員として民生の安定に尽力
- 【保健福祉関係】
 - 山下 輝（上新町、62歳）
 - 保健推進員として保健の推進に尽力
 - 水上 一光（岩崎、83歳）
 - 鶴飼ナミ子（鶴飼、68歳）
 - 古里カノ子（下晴山、65歳）
 - 上澤 ミヨ（君成田、79歳）
 - 澤邊 マツ（鶴飼、62歳）
 - 食生活改善推進員として保健の推進に尽力
- 【安全功労】
 - 畑林 悦男（市野々、43歳）
 - 交通指導員として交通安全の推進に尽力
- 【教育関係】
 - 梅木 大幹（小軽米中学校、2年）
 - 平成20年度全国中学生人権作文コンテストにおいて奨励賞を受賞



平成20年度町表彰式典に出席した被表彰者の皆さん

平成二十年年度の町表彰式典が二月二十日、町農村環境改善センターで開催され、町勢の発展に功績のあつた個人十一人に町長表彰が贈られました。

山本賢一町長が「受賞者の皆様のこれまでのご努力に敬意と感謝を申し上げます。今後各分野での更なる活躍を願っています」と式辞を述べ、受賞者一人ひとりに表彰状を手渡しました。

代表謝辞を行った畑林悦男さん（市野々）は「今日の感激を胸に、今後ますます力をいれていきたい」とさらなる活躍を誓っていました。

明日の農業は僕たちが

町農村青年クラブ設立50周年

町農村青年クラブ（杉浦司会長、会員十四人）の設立五十周年記念式典並びに祝賀会が二月二十八日、同クラブの会員や歴代会長、農業関係者ら約六十人が出席して、総合会館瀧村屋で行われました。

出席者らは全員で4日クラブ綱領の唱和を行い、よりよい農村を



農業の発展を誓った杉浦会長

創るための、腕、頭、心、健康の四つの信条を確認しました。

実行委員長の杉浦会長は「クラブ員の減少などの困難な問題も、諸先輩方からの支援を

いただき、乗り越えてこれた。これまでの概念にとらわれず柔軟な発想と創意工夫で、豊かな農村、明日の農業を担ってほしい」とあいさつ。県商工労働観光部地域産業課の三角正裕さんによる講演や、式典の後には祝賀会も行われ、会員らは町の農業の発展への思いを語り合いながら同クラブの設立五十周年を祝いました。

介護される方の気持ちが大事



理学療法士の立場から福祉用具や住宅改修へのアドバイスをした桜木さん（写真左）

財団法人県長寿社会振興財団と町地域包括支援センター共催の軽米町住宅改修研修会が二月十日、町健康ふれあいセンターで行われました。介護に携わる方や建設業者、福祉関係者ら五十六人が参加。青森県立保健大学理学療法学科講師の桜木康広さんから、住宅改修や福祉用具の購入についてさまざまな

角度から説明を受けました。講師の桜木さんは「自分が介護される場合を考えると、その人のためになる」と、介護される方の気持ちになることの大切さを訴えました。

同研修会は、介護に関わる各分野の連携を図るとともに住宅改修への理解を深める目的で行われ、今年で三回目の開催になります。

緊急雇用対策本部を設置しました

緊急雇用 相談窓口

厳しい景気減速に伴い、製造業を中心に雇用不安が拡大しています。町では景気悪化に伴う町民への影響と、雇用維持・確保のため、三月二日に緊急雇用対策本部を設置し、役場産業振興課内に相談窓口を設けました。お気軽にご相談ください。

時間 8:30～17:30（平日）
場所 役場産業振興課
主な相談内容

- ・中小企業向け融資制度の斡旋
- ・求職者等への雇用、生活支援等に関する相談
- ・公共職業安定所などへの相談担当部門及び求人情報を紹介

問い合わせ先
町産業振興課商工観光グループ
(☎46-4746)

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

あなたの情報が
決め手になります！

現在も危険性を有するオウム真理教は、依然として多数の教団施設を維持し、インターネットのウェブサイトやサークルなど様々な活動で信者獲得を図っています。

また地下鉄サリン事件で特別手配被疑者となっている平田信・菊地直子・高橋克也の3人は、依然として逃走しています。この3人に関する情報をお持ちの方は、遠慮なく警察に通報をお願いします。

特別手配被疑者



平田 信 菊地直子 高橋克也

指名手配者の情報は、
※警察庁ホームページ (<http://www.npa.go.jp> → 「指名手配」)
※携帯電話（「警察庁指名手配」でアクセス）

1月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

項目	当月（累計）	昨年比
▶ 町内の交通事故		
人身事故	1件（1件）	+1
死亡者	0人（0人）	±0
負傷者	1人（1人）	+1
物損事故	17件（17件）	+5
▶ 救急車の出動回数	30回（30回）	-5
▶ 飲酒運転検挙者		
今月の飲酒運転検挙者はいません		

個人29人・5団体に町体協会長表彰



表彰状が贈られた受賞者の皆さんは今後更なる活躍が期待されます

平成二十年度においてスポーツ分野で顕著な成績を収めた競技者（町内在住又は町出身の個人、町内のスポーツ団体）に贈られる平成二十年度町体育協会（日山篤会長）の表彰式が、二月八日の生涯学習フェスティバルの会場で行われ、岩手県大会などでベスト四以上に入賞した二十九人、五団体に表彰状が手渡されました。

平成20年度軽米町体育協会表彰被表彰者（敬称略）

【卓球】（個人6人、2団体）		
小笠原笑太（埼玉工業大1年、晴山中卒）	大分国体岩手県選手選考会シングルス	2位
本田郁美（富士大3年、同）	県卓球選手権大会ダブルス	優勝
本田麻童香（富士大1年、同）	県卓球選手権大会シングルス	3位
長坂貴子（東北福祉大1年、同）	大分国体岩手県選手選考会シングルス	4位
橋場さとこ（大清水）	県社会人卓球選手権大会シングルス	2位
赤羽礼子（同）	県社会人卓球選手権大会シングルス（フォーティ）	2位
晴山中・男子卓球部	県中学生団体卓球大会	3位
晴山中・女子卓球部	県中学校新人大会	3位
【ソフトテニス】（個人6人、1団体）		
来迎成美、仲條 萌（軽米小4年）	県小学生学年別新進大会・4年以下	3位
山下彩花、工藤 冨（軽米小5年）	県小学生学年別新進大会・5年生の部	3位
中村美月（軽米中3年）	県秋季大会・一般女子	3位
上澤笑美子（君成田）	県秋季大会・一般女子	3位
軽米中・女子ソフトテニス部	県スポーツ少年団交流大会	3位
【剣道】（個人9人、1団体）		
外山大弥（軽米小6年）	県下スポーツ少年団大会	3位
佐藤由望（同）	県下スポーツ少年団大会	優勝
坂本将士（軽米中1年）	県中学校新人大会1年生男子	優勝
日山大樹（同）	県中学校新人大会1年生男子	2位
坂本隆磨（軽米中2年）	県中学校新人大会共通男子	優勝
長内 拓（同）	県下スポーツ少年団大会	2位
小笠原慎二（同）	県下スポーツ少年団大会	3位
戸草内洋輝（軽米高3年）	県高等学校総合体育大会個人	3位
外山和成（同）	県高等学校総合体育大会個人	3位
軽米中・男子剣道部	県中学校新人大会	優勝
【陸上競技】（個人6人）		
紫葉夏海（晴山中1年）	県中学校総合体育大会・砲丸投げ	3位
紫葉襟菜（軽米高2年）	県選手権大会・ハンマー投げ	優勝
宮本大輝（同）	県選手権大会・2部三段跳び	2位
紫葉大将（軽米高1年）	県選手権大会・2部やり投げ	3位
下屋敷栄貴（同）	大分国体県選手選考会3部円盤投げ	3位
大清水一敬（上新町）	全国スポレクマスターズ45才・5000m	3位
【柔道】（個人2人）		
下堀暁充（軽米高2年）	県高等学校総合体育大会・個人	3位
沢口由莉亜（同）	県高等学校新人大会・個人	3位
【ゲートボール】（1団体）		
町ゲートボール協会	県ゲートボール選手権大会	優勝

古里京子さんが最優秀賞

平成二十年度暴力団追放標語コンクール小学校の部で、晴高小学校六年の古里京子さんの作品「暴力で、人の心は動かない！」が最優秀賞を受賞しました。古里さんは「最優秀賞がとれるとは思ってなかったのうれしい」と喜び



盾と賞状を手に喜びの表情を見せる古里さん

暴力団追放標語コンクール

の表情を見せていました。



全国大会に向け練習に力を入れる内城さん

内城鞠那さん（福岡高二、晴山中出身）が、三月二十日から静岡県藤枝市で行われる第二十八回全国高等学校弓道選抜大会団体の部への出場を決めました。昨年十一月に行われた県大会、一月の東北大会を勝ち進み手にした全国への切符。内城さんは「みんなで支えあいながら、全国を意識して練習してきた。自分たちがやってきた『射』を全国でできるように頑張りたい」と話します。個人の部では、県大会で準優勝したものの、東北大会では思うような成績が残せなかった内城さん。全国大会での活躍が期待されます。

250人が優勝目指し熱戦

第31回町長杯卓球選手権大会

第三十一回町長杯卓球大会が二月一日、町民体育館で開催されました。小学校一年生から大人まで、町内外から延べ二百五十人が参加。会場内の各コートでは、優勝をめざして熱い戦いが展開されました。各種目ごとの優勝者と優勝チームは下記のとおりです。



ホープス、同ミニの部で優勝した（左から）杉浦さん、百鳥君、細谷地さん、畑中君

町長杯卓球大会の優勝者・チーム（敬称略）

<ホープスミニ男子>	畑中亮祐（晴高小3年）
<ホープスミニ女子>	細谷地瑠唯（笹渡小4年）
<ホープス男子>	百鳥礼（笹渡小5年）
<ホープス女子>	杉浦百合（笹渡小6年）
<カデット男子団体>	一戸中
<カデット女子団体>	晴山中
<カデット男子個人>	小笠原涼馬（晴山中1年）
<カデット女子個人>	小林杏里（晴山中1年）
<アマチュア男子>	高柳恒雄（高柳）
<アマチュア女子>	古里裕子（観音林東）
<一般男子>	笹山基剛（軽米高2年）
<一般女子>	大欠香奈（町卓球協会）

内城鞠那さん（晴山中出身）

弓道で全国大会へ



Aブロック連覇を飾った山内チーム

山内がAブロックで連覇

第31回町総体・卓球競技

第三十一回町総体の卓球競技第二十八回大会が二月十五日、町民体育館で行われました。十一チーム、約百八十人が参加し、ブロックごとに総当り戦で熱戦を展開。Aブロックでは山内チームが前回大会に続き連覇を飾りました。

町総体卓球競技の結果

（○に数字は順位）

- 【A】①山内（3勝）②上館連合（2勝1敗）③円子（1勝2敗）
- 【B】①笹渡（3勝）②観音林（2勝1敗）③小玉川（1勝2敗）
- 【C】①増子内（2勝）②晴高（1勝1敗）③上新町（2敗）

将来を担う中高生が一般質問



食や雇用、福祉問題のほか町の方針などについて、するどい質問が出されました

中高生徒会リーダー模範議会（高一貫教育協議会主催）は二月七日、町内の中学校や高校の生徒会役員ら約四十人が参加し、町議会議場で行われました。町に望むことをテーマに十五人が一般質問を行い、食の安全や、雇用に関する質問など、鋭い質問が出されました。議長として議会を進行した軽米高校の宮本大輝君（二年）は「とても緊張したけど貴重な体験ができた。生徒会活動に生かしていけそう」と自信をつけていました。

伝統あるちから太鼓引き継ぐ

観音林小学校（吉住俊子校長、児童五十四人）の四、六年生が取り組む「観小ちから太鼓」の引継ぎ式が二月二十三日に行われました。児童や保護者が見つめるなか、六年生が力強い太鼓演奏を披露し「来年度は観音林小として最後の年。伝統ある太鼓をしっかり受け継いでほしい」と四、五年生にばちとほんでんを引き継ぎました。「伝統を受け継ぎ、一生懸命頑張る」と受け取った四、五年生は、練習してきた太鼓演奏を披露し六年生に答えました。



力強いばちさばきを披露し、5年生以下にその勇姿を見せた6年生

湯葉にビックリ寄せ豆腐作り



豆乳からとれた湯葉に興味津々のこどもたち

山内小学校（菊地孝校長、児童四十六人）の二、三年生十四人は二月三日、自分たちで育て収穫した大豆を使った寄せ豆腐づくりを行いました。山下ハナエさん（竹谷袋）とゆみ子さん（同）が講師となり豆腐作りを指導。小林星輝君は「豆腐を作るときに湯葉ができるのを始めて知った」と目を輝かせていました。午後からは「大豆を育てたよ、感謝の会」が行われ、講師の二人や栽培を指導した下谷地芳雄さん（下谷地渡）とともに会食を楽しみました。

自分が好きなことを見つけよう

晴山中学校出身の高校三年生を招いての「卒業生に学ぶ会」が二月二十日、晴山中学校で行われました。小野寺遥香さん（福岡高）、下谷地真梨菜さん（同）、工藤千明さん（軽米高）、小笠原忍さん（青森県立南部工業高）が、進学や就職などの進路を決めた理由や取り組みについて話しました。下谷地さんは「視野を広げて自分が何が好きかを見つけることが大事」とアドバイス。先輩の言葉聞いた中学生は、将来に向けて気持ちを新たにしていました。



母校の後輩に向けて、進路を決めた理由や取り組みについてアドバイスした高校生

交通安全の願いマスコットに

交通安全母の会（工藤育子会長）による交通安全マスコット作りが二月十日、町役場会議室で行われました。同会のメンバー二十二人が参加し、八百個のマスコットを完成させました。工藤会長は「このマスコットにより一人でも多くの人が交通安全に対する意識を高めてもらえれば」と交通安全への願いを込めてマスコットを作っていました。



交通安全の願いを込めてマスコットを作る交通安全母の会の皆さん

昔の遊びで世代を超えた交流



枝いっぱいにもちをつけたみずき団子作り

増子内老人クラブ（川島定江会長）主催の三世代交流会が二月十一日、増子内農村振興会館で行われました。同地区の子どもから大人まで約五十人が参加。お手玉やおはじき遊びのほか、もちつきやみずき団子作りも行われました。奥亜香音さん（小軽米小三年）は「お手玉が面白かった。自分でついたものはおいしかった」と会を満喫。川島会長は「地元小学校がなくなつてから子どもとの交流の場が減った。また交流会を開きたい」と話していました。

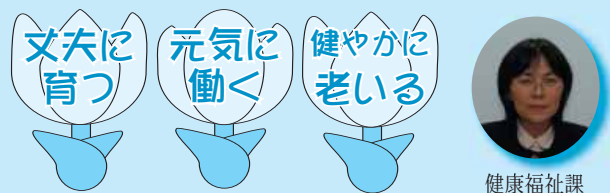
昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

音更町文化協会ダンス部会の発表会が、2月8日にサンドームおとふけで開かれました。所属する9団体の部員、一般の来場者を含め300人余りが参加。選手たちは日ごろのレッスンの成果を発揮して、タンゴ、ルンバなど見事なステップを披露しました。



軽やかなステップでレッスンの成果を披露



～1人で悩まず、まず相談を～

社会の流れと共に私たちの身のまわりではいろいろな変化が起こり、ストレスに思い悩む方は多いと思います。そんな時には、誰かに聞いてもらうことで気持ちが楽になります。心の内を話す時には、安心できる場所や人がとても大事になってきます。

健康福祉課の保健師は、心や体の悩みを抱えている方の健康相談を随時行っています。絶対に1人で悩みを抱え込まず、電話でも直接窓口でも構いませんのでどうぞお話しください。

また、精神科医による「こころの相談」を毎月第1火曜日の午後無料で行っております。「どこでも話せなかった。来てよかった」と利用者から喜ばれています。予約制となっておりますので、健康福祉課までご連絡ください。



健康福祉課 上席主任保健師 櫻場栄子



プロフィール
【氏名】 Janine Bidmead (ジャニン・ビドミード)
【国籍】 イングランド
【略歴】 シェフィールド大学卒、2008年8月4日に町の英語指導助手として着任。

♪ コロンのかるま日記

Fumiko: Janine, are you having fun in this cold weather?
文字: ジャニンさん、すごく寒いけど冬を楽しんでる?
Janine: Yes! At the start of February I went to Koiwai snow festival. It was great! There were many ice sculptures, and my friends and I went sleighing for 2 hours! We also had dinner in an ice house! It was very cold, but the food was delicious and it was really fun!
ジャニン: ええ、2月初めに小岩井の雪まつりに行って来たけど最高ね。雪像がたくさんあったし、友達と2人で2時間も1走り遊びをしたのよ。かまくらの中で夕食をとって。超寒かったけど、おいしい食事でホント楽しかったわ。
Fumiko: What have you been doing in lessons?
文字: 学校の授業ではどんなことしてるの?
Janine: Well, I told the students about how we celebrate Valentine's day in England. The boys give presents to girls, such as chocolates, sweets, roses or a romantic dinner! I was very surprised to learn that it is different in Japan. The 24th February in England, is pancake day. On this day, everyone in England makes pancakes. Traditionally, people made pancakes because from February 25th they couldn't eat our, eggs and milk for 40 days. This is called lent. Today, people just give up something they like for lent. Being able to do this shows you have a strong mind to resist temptation. This year, I am giving up chocolate and sweets for 40 days! The students learnt about pancake day by making them in class! It was really fun and a great way to learn about English culture!
ジャニン: イギリス式のバレンタインの祝い方を教えたわ。イギリスでは男性から女性に、チョコレートや甘い物、バラの花やロマンチックな食事などをプレゼントするの。日本では全然違うからビックリ。イギリスでは2月24日はパンケーキの日で、誰もがパンケーキを焼くのよ。次の日の2月25日から40日間は、小麦粉と卵とミルクを食べることはいけないという慣習があったから。これは「レント」と呼ばれるんだけど、最近では代わりに何か自分が好きな物を我慢するの。それによって、誘惑に負けない強い心を示せるから。私の場合、今年はチョコレートと甘い物を40日間我慢するつもり。生徒たちは学校でパンケーキを作ることで、パンケーキ・デーのことを覚えたの。楽しみながら、最良の方法でイギリス文化を学んできて。訳。

笑顔あつまれ！ みんなの広場

我が家の人気者 あこやかさん

人なつっこくて、楽しいことが大好きなゆのんちゃん。お笑いネタが得意。最近では料理に興味を持ち始め、にんじんの皮むきが出来るようになりました。将来はプリキュアになるのが夢です。



とだ ゆのん 戸田 侑音ちゃん (3歳2カ月)
愛称: ゆのん
(岩崎) 雅之さん・詩子さんの長女

Q 自分の性格を一言でいうのんびりですかね？
A 趣味は？
Q 興味は？
A 体を動かすことです。バレーボールやウインタースポーツが好きです！
Q 今の仕事について思うことは？
A 昔のお寺は、地域の方がお茶を飲みに来たり、子どもたちの遊び場になっていたらと聞きました。そのような、誰もが気軽に来れる温かいお寺にしていきたいですね。
Q 町に望むことは？
A 高速道路や新幹線へのアクセスがよいので、それを活用して何かできればいいと思います。
▼好きな色: グリーン
▼好きな花: 水芭蕉
▼好きな食べ物: 味噌汁
▼理想の異性のタイプ: 一緒にいて楽しい人

キラキラ光る
誰もが気軽に来れるお寺にしたい

夢・希望・えんぴつ
さらなる発展を目指して
「心」一人ひとりの思いを輝かせて！これは現在後期生徒会スローガンとして全校で取り組んでいるものです。僕は生徒会長としてこの「心」に迫るような活動をしていきたいと思ひ、生徒会執行部の人たちと話し合い決めました。「心」というものは、一人ひとりの見えない部分です。それを改善、向上させてい



軽米中学校2年(下円子下組) さかもと わたる 坂本 巨くん



☆profile☆
まさや 工藤 昌也さん (23歳、河北)
身長177cm、血液型A型
実相寺・僧侶

軽米の埋もれし宝③
縄文時代早期の尖底土器

縄文時代草創期に続く早期の土器なごの遺物・遺構は、八戸火山灰(カベ)層の上部、あるいはその上の南部浮石層(ゴロ夕)が広がる面から発見されることから、約九千六百年前ころのものと考えられています。この時期には、氷河期が終わり一気に暖かくなり、海面が三十センチ以上も上昇して現代と同じくらいまで海進が進みました。沿岸部では貝や動物の骨を一方所に捨て続けた貝塚が造られ、また軽米インターチェンジ前に広がる大日向II遺跡では竪穴住居跡が五棟も発見されるなど、食糧の安定確保により同じ場所に長く住み続ける定住生活が始まったことがうかがえます。



縄文早期の押型文土器 (馬場野II遺跡出土)
写真: (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

今月の俳句
北光吟社 一月例会会
雲間よりわずかに望む初日かな 丹下美恵子
七草粥庭のはこべをひとくさに 千葉紅園
晚酌の量の過ぎたる噓かな 田頭トヨ子
川の瀬や雪帽子のせ石三つ 中田紀子
埋めゆく刺子模様や日脚伸ぶ 松村英子
寒月や盆地の中の大櫛 中野とき
大寒やしきりに通る救急車 三上千栄女
今朝の雪春雪にして大降り 川島由蔵
東の空明らかに今春の立つ 端川石造
春寒や五十路の意気込み表へて 早川慶子
綿入れを曾孫にそつと掛けてやり 国久黄実
八十路坂二つ越したる寒の入り 川島由蔵

お知らせ
情報
Information



2月の図書館ひろばではひなまつりが行われました



子どもたちは、紙芝居や本の読み聞かせにじっくり耳を傾けました



さくらもちを食べ、できたての抹茶も飲みました。さてそのお味は!?



苦いかと思いきや、意外にもおいしかったみたいです

土地家屋について
無料相談会を開催

県土地家屋調査士会二戸支部では4月1日「表示登記の日」を記念して下記のとおり無料相談を行います。

▶日時：平成21年4月1日(水) 午前10時～午後3時

▶場所：二戸市シビックセンター
▶相談内容：土地の地目変更、分筆・合筆、建物の新築・増築・滅失登記、土地・建物の調査測量、境界問題など

【問い合わせ先】県土地家屋調査士会二戸支部 大村義明 (x46-2027)

国家公務員I種II種の
採用試験を実施します

人事院では、国家公務員I種及びII種試験(大学卒業程度)を実施します。

【I種試験】
▶受付期間：平成21年4月1日(水)から4月8日(水)まで(受付最終日までの通信日付印有効)

▶第1次試験日：平成21年5月3日(日)

【II種試験】
▶受付期間：平成21年4月13日(月)から4月22日(木)まで(受付最終日までの通信日付

印有効)

▶第1次試験日：平成21年6月21日(日)

【問い合わせ先】人事院東北事務局第二課試験係 (x022-221-2022)
ホームページ <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

東北地区国立大学
新採用職員を募集

東北地区の国立大学法人、独立行政法人高等専門学校機構、及び一部の独立行政法人の、事務系及び技術系の職員採用試験を実施します。

▶受験資格：昭和55年4月2日以降に生まれた者

▶受付期間：4月1日(水)～4月10日(金) ※消印有効

▶第1次試験：平成21年5月17日(日)

▶第1次試験地：盛岡市、仙台市、秋田市、弘前市など

【問い合わせ先】東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務室 (x022-217-5676)

自衛隊員を募集
一般幹部候補生

自衛隊の一般幹部候補生を募集します。

▶受付期間：平成21年4月1日(水)～5月12日(火)

▶第1次試験：平成21年5月16日(土)、17日(日)

▶採用区分：一般・技術…20歳以上26歳未満(大学院卒は28歳未満)、医科・歯科・薬剤科…20歳以上30歳未満(薬剤科は26歳未満、ただし薬剤大学院卒は28歳未満)
※入隊後は、それぞれの訓練を終了後幹部自衛官になります。

【問い合わせ先】自衛隊二戸地域事務所 (x23-2529)

仙台国税局で
税務職員募集

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するパイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

▶受験資格：①昭和55年4月2日から昭和63年4月1日生まれの方、②昭和63年4月2日以降生まれの方で、大学を卒業または平成22年3月までに卒業見込みの方など

▶受付期間：平成21年4月1日(水)～4月14日(火)

▶第1次試験：平成21年6月14日(日)

▶受験申込書の請求先：最寄の税務署、仙台国税局人事第二課、人事院東北事務局

【問い合わせ先】
二戸税務署 (☎23-2701)

確定申告はお早めに

町県民税と所得税は
3月16日(月)まで
個人事業者の
消費税・地方消費税は
3月31日(火)まで

金融機関の口座を指定して、振込みを求めることはありません。また、税務に関する講習会などへの受講を勧誘し、種々の名目により法外な金銭を請求するといった事件もあります。十分ご注意ください。

税務職員を装った詐欺に注意!

税務職員を装い、現金自動預け払い機(ATM)を操作させ、振込みを行わせる「振り込め詐欺」による被害が発生しています。

税務署や国税局では、①還付金の受取のためにATMの操作を求め、②国税の納税のために

【問い合わせ先】仙台国税局人事第二課 (x022-263-1111内線3236)

青年国際交流事業に
参加してみませんか

内閣府では、現在平成21年度青年国際交流事業の参加青年(18～30歳を対象)を募集しています。

- ▶対象事業
- ①国際青年育成交流
 - ②日本・中国青年親善交流
 - ③日本・韓国青年親善交流
 - ④世界青年の船
 - ⑤東南アジア青年の船
 - ⑥青年社会活動コアリーダー育成プログラム
- ▶申込期限 平成21年3月27日(金)
- ▶申込先

県庁青少年・男女共同参画課 ※説明会を開催します。

○日時：3月15日(日) 10:00～

○説明会場所：盛岡市アイーナ
【問い合わせ先】県庁青少年・男女共同参画課 (x019-629-5348)

労働保険の年度更新
時期変更のお知らせ

労働保険等の年度更新申告・納付時期が4月1日～5月20日となっていました。平成21年度から下記のとおり変更になります。

▶変更後申告・納付時期
平成21年6月1日(月)～7月10日(金)

【問い合わせ先】岩手労働局労働保険徴収室 (x019-604-3003)

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

菅整形外科皮膚科クリニック (☎23-7311)	二戸市石切所	3月20日(金)	窪島歯科医院 (☎23-2425)	二戸市福岡
おりそ内科循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市福岡	22日(日)	関歯科医院 (☎38-2937)	二戸市浄法寺
いちのへ内科クリニック (☎33-2701)	一戸町高善寺	29日(日)	曾根歯科医院 (☎27-3108)	二戸市金田一
齋藤産婦人科医院 (☎23-2505)	一戸町一戸	4月5日(日)	三澤歯科医院 (☎23-2445)	二戸市福岡
小原内科医院 (☎23-3410)	二戸市石切所	12日(日)	小野寺歯科医院 (☎33-3050)	一戸町高善寺

戸籍の豆知識

届出期間

今月は転出・転入が多くなる時期です。転出の届けは引っ越しする前でも予定で届けることができますが、転入と転居については住み始めてから14日以内に届出をしなければなりません。

【問い合わせ先】
役場・町民生活課 (☎46-4735)

せん。住所変更や戸籍届出に伴い、保険証や年金、医療費受給者証などの手続きが必要となる場合もありますので、窓口の混雑が予想される今の時期は早めの手続きをお願いします。

図書館だより

— 今月の新刊 —

【児童書】
ランドセルがやってきた

文 中川ひろたか
絵 村上康成(徳間書店)



ある日、幼稚園から帰ってくると、大きなプレゼントが届いていました。送り主は誰かな? 中身はいったいなんだろう…。新1年生にぴったりの絵本。

チームあした

作 吉野万理子(学習研究社)

純は卓球部のキャプテン、大地は良きアドバイザーに。しかし、新しく迎えたコーチが突然いなくなり、その上、手強そうなライバルも現われて…。「チームふたり」の続編。



【一般書】

こんなに変わった
歴史教科書

監修 山本博文(東京書籍)



歴史教科書の記述が変化している? 30年前と現在の中学社会歴史教科書を基本に、記述が変わったところをなぜ変わったのかという視点で検討する。

誰でもできる手作り味噌

著 永田十蔵(農山漁村文化協会)

「標準タイプ」の味噌を設定し、それを指標に全国の個性ある味噌の仕込み法を詳述。基礎知識から、おすすめ料理まで、味噌づくりの知識と技術、そして精神を解説する。



手づくり絵本展

◎日時：3月27日(金)～29日(日)
◎会場：旧生活文化博物館(町立図書館となり)
◎内容：「手づくり絵本」応募作品126点の巡回展示

税の1ロメ

3月 March

16	月	
17	火	
18	水	2歳児健診【ふ】13:00~13:30受付
19	木	
20	金	【春分の日】
21	土	
22	日	夜間・休日の納税相談【役場・税務会計課】(～24日)
23	月	
24	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 ☎3-3111)
25	水	
26	木	全血献血【岩手県農業研究センター】10:00~、 【役場地域整備課前】11:30~、【ふ】14:00~
27	金	手づくり絵本展【図】(～29日)
28	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
29	日	
30	月	
31	火	

4月 April

1	水	
2	木	胃検診【晴山公民館、晴山農業構造改善センター】6:00~8:30受付
3	金	胃検診【ふ】6:00~8:30受付
4	土	
5	日	胃検診【環】6:00~9:00受付
6	月	胃検診【米田農業構造改善センター、笹渡農業構造改善センター】6:00~8:30受付
7	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 ☎3-3111) 胃検診【小軽米生活改善センター】6:00~8:30受付 こころの相談【ふ】14:00~15:30
8	水	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付 胃検診【円子生活改善センター、屋敷自治公民館】6:00~8:30受付
9	木	胃検診【山内農業構造改善センター、高家生活改善センター】6:00~8:30受付
10	金	胃検診【環】6:00~8:30受付
11	土	少年野球教室【ハ】(～12日) にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	



九戸村との町村境に、来町される方を歓迎する歓迎塔(写真)が新たに設置されました。今回設置されたのは、国道340号線の山内駒板地区と、県道軽米九戸線の上円子地区の2カ所。鮮やかに咲くチューリップと、町のホームページイメージキャラクター「ヒエポン」が町外から来る方を温かく出迎えます。

冠婚葬祭 1月届出分 <敬称略>

おめでた () 内は父母の名	板橋 坂本末吉 (84歳)
七ツ役 すぎうらせな (徹知恵美)	山田 工藤トワ (92歳)
観音林南 ほんだまお (孝博良子)	横枕 大久保芳松 (80歳)
元屋町 みやさわみ (裕一郎絵美)	横枕 大久保みよし (73歳)
萩田 まつだりょうた (俊男ゆかり)	外川目 中村勇吉 (88歳)
	観音林東 小向フチ (84歳)

おしあわせに	高清水 長井利吉 (80歳)
{ 笹淵 剛 (上新町) 久保あさみ (久慈市)	上尾田 中里竹次郎 (88歳)
	高清水 古館スノ (97歳)

おくやみ () 内は享年	沢田 工藤キク (88歳)
本町 下谷地克廣 (57歳)	上晴山 小笠原喜美夫 (51歳)
屋敷 下川原ヨシノ (93歳)	下円子 浅水吉藏 (96歳)
横枕 横島オキエ (88歳)	山内駒木 円館智史 (19歳)
向高家 工藤フミ (82歳)	沢里 来迎モト (93歳)
上円子 浅水吉郎 (84歳)	駒木 荒川タソ (80歳)

●人の動き <平成21年1月31日現在/町民生活課調べ>

男	5,392人 (-4)	女	5,567人 (-9)
合計	10,959人 (-13)	世帯数	3,732 (-5)
※ () は前月比			
転入	18人 (18人)	転出	14人 (14人)
出生	4人 (4人)	死亡	21人 (21人)
※ () は1月からの累計			

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター 老:老人福祉センター
 フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館
 ハ:ハートフル・スポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場

発行/岩手県軽米町 編集/総務課 (毎月第2水曜日発行)
 〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
 TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
 URL http://www.town.karumai.iwate.jp/

ほっとひといき/編集後記
 皆さまのおかげをもちまして「広報かるまい」がめでたく600号を迎えました。表紙の写真の600の意味に気が付きましたか?今計算してみたら創刊50周年になるみたいですね!町民の皆さんには本当に感謝しております。
 今月号から町の若者を紹介する「キラキラ光る」コーナーを始めました。キラキラしている若者(おおむね18~30歳)を紹介していく予定ですので、お近くにいるかわいい女の子、男前な男の子をご紹介ください! (山下)